

(別紙5)

整理番号 2018P-052
補助事業名 平成30年度国内スポーツ競技力向上のための補助事業
補助事業者名 公益財団法人 日本オリンピック委員会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

オリンピック・ムーブメント事業は、国民にオリンピックへの関心を高め、オリンピックの価値を体感、理解してもらい、国民一人一人がオリンピック・ムーブメント活動を主体的に推進する社会を目指すことを目的に事業展開をする

(2) 実施内容

■オリンピック教室 <https://www.joc.or.jp/event/class.html>

平成21年4月に新学習指導要領が公示され、中学校3年生の保健体育「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されたことを受けて、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、オリンピックを教師役として派遣し、運動の時間（体育館）＋座学の時間（教室）の2時限を授業形式でオリンピック教室を実施した。授業では、オリンピックがオリンピック大会出場に至るまで、或いは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えた。また同時に、これら価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとして実施した。



(別紙5)

■コンサート <https://www.joc.or.jp/event/concert/>

平成30年度のオリンピックコンサートは、昨年と同様にオリンピック・ムーブメントの本来的な意義を重視し、若い世代をはじめ幅広い年齢層に対し、オリンピックへの関心・理解を深めてもらうことを目的に企画した。「つなげよう感動！輝こうTOKYOで！」をテーマとし、近代オリンピック復興に尽力したクーベルタンの言葉を基に、オリンピックモットーやスポーツと芸術の融合等の切り口でオリンピズムとは何かを紐解く構成とし、迫力の映像と壮大な音楽、フルオーケストラの力強い演奏で演出。ゲストアーティストとして、森山直太郎氏を迎え、スポーツファンのみならず音楽ファンへも、スポーツと音楽の相乗効果によるオリンピックがもつ価値への理解やオリンピアンへの応援気運の醸成などを目指し、昨年同様、東京国際フォーラム・ホールAで開催。



■広報誌 <https://www.joc.or.jp/olympian/>

SNSの運用強化に向けて、Instagramアカウントの運用、オリジナルコンテンツの制作・発信、競技団体（NF）との連携施策、競技大会やオリンピック・ムーブメント事業時の発信強化を行った。オリンピック・ムーブメント事業では、事業終了後に公式ウェブサイト上に実施報告書を掲載するとともに、一部事業では約2分程度のハイライト動画を作成、公開し、事業内容の周知・拡散を行った。第18回アジア競技大会や第3回ユースオリンピック競技大会の日本代表選手団結団式や、オリンピックコンサート等JOC主催諸事業に参加している選手に協力を得て、コメント動画等をSNSで発信し、選手の声をより多くの国民へ届ける施策を行った。

年1回発行する広報誌「OLYMPIAN」は、JOCが実施するオリンピック・ムーブメント事業の参加者を中心に直接配布し、特に青少年をターゲットにした企画構成で制作している。平成30年度は「東京へつなぐ、平昌の想い。」をテーマに、第23回オリンピック冬季競技大会のメダリストインタビューを巻頭特集とし、平昌冬季オリンピックについてのレビューをメインテーマとして掲載。同時に、広報誌のターゲット層と年齢が近い選手2名のインタビューを掲載し、東京2020大会に懸ける想いを取材した。冊子は合計3万部制作し、オリンピックコンサートより配布を開始した他、公式ウェブサイトへ電子ブックを掲載し、広く一般に公開した。

(別紙5)



2 予想される事業実施効果

多くの人にとってのオリンピックは「世界最大のスポーツの祭典」として観戦するものと捉えられている現状の中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた様々な取り組みを、国、自治体、スポーツ関係団体が進めていくことにより、オリンピズムやオリンピックの価値への全般的な理解の広がりが期待されている。JOCは、国内オリンピック委員会として、東京2020大会を視野に、更には2021年以降を見据えながらオリンピック・ムーブメント事業の主体的な取り組みを通じて、オリンピックを多くの人と共有し、人々の健全な成長を後押ししたい。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<https://www.joc.or.jp/>

広報誌：オリンピアン（30,000部）

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 日本オリンピック委員会

(コウエキザイダンホウジン ニホンオリンピックイインカイ)

住所： 〒150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

代表者： 会長 竹田恒和 (カイチョウ タケタツネカズ)

担当部署： 財務部 (ザイムブ)

担当者名： 係長 安達和重 (アダチカズシゲ)

電話番号： 03-3481-2296

F A X： 03-3481-0977

E-mail： k-adachi@joc.or.jp

U R L： <https://www.joc.or.jp/>